

資料1 学校いじめ防止プログラム

月	学校行事	生徒主体の活動	未然防止		早期発見・早期対応	保護者・地域との連携	P D C A
			道徳や特別活動	職員研修			
4	対面式 歓迎遠足	新入生歓迎行事 人間関係づくり 学校生活について考えるL H R 歓迎遠足での絆づくり	1年生人権学習 ■学校基本方針の確認と 目標の共有	■学校基本方針の確認と 目標の共有	○毎週1回学年会 を実施し、学年内 の生徒状況につい て情報共有	P T A総会 (基本方針の説明) いじめ防止基本方針を公 式ホームページに掲載	計画・目標作成
5	生徒総会	いじめについて考えるL H R	■いじめに関するL H R について ■S C・S S Wについて	ASSESS・困っているこ とアンケート①	○毎週1回教育相 談委員会を実施 し、各学年の状況 について情報共有 と組織的対応につ いて協議	家庭訪問又は三者面談で の相談	
6		振徳祭について考えるL H R	2年生人権学習 3年生人権学習	いじめアンケート① 個人面談期間	○毎月1回いじめ 問題対策委員会を 実施し、委員会の 活動について協議		
7			■人権教育 ■アンケート①の分析と 取組改善の協議 ■A S S E S S①		○年3回の定例の 職員会議及び必要 に応じて臨時の職 員会議でいじめの 状況と学校生活に ついて情報を共有	中間評価と取組 の改善	
8		リーダー研修(生徒会)			○年3回の定例の 職員会議及び必要 に応じて臨時の職 員会議でいじめの 状況と学校生活に ついて情報を共有	学年P T A集会	
9	振徳祭 (体育の部)	S N Sについて考えるL H R 振徳祭(体育の部)での絆づくり	統一人権学習	いじめアンケート(県) ASSESS・困っているこ とアンケート②	○緊急の事案につ いては随時対策委 員会を開催		
10	振徳祭 (文化の部)	振徳祭(文化の部)での絆づくり	■A S S E S S②	いじめアンケート② 個人面談期間	○緊急の事案につ いては随時対策委 員会を開催	中間評価と取組 の改善	
11	修学旅行	修学旅行での絆づくり	1・3年生人権学習 ■アンケート②の分析と 取組改善の協議				
12							
1							
2		学校生活について考えるL H R			いじめアンケート③ 個人面談期間	年間評価	
3	クラスマッチ	クラスマッチでの絆づくり	■アンケート③の分析、今 年度の反省と次年度取組 事項の協議		■アンケート③の分析、今 年度の反省と次年度取組 事項の協議	検討し実践	次年度計画作成

## 資料2 学校におけるいじめの防止の為の職務別ポイント

- 全ての学校は、いじめの防止等のための対策に関する基本的な方針を定める。
- 全ての学校は、複数の教職員、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者、その他の関係者により構成されるいじめの防止等の対策のための組織を設ける。
  - ・いじめへの対応は、校長を中心に一致協力体制を確立することが重要である。
  - ・いじめに関する情報は特定の教職員が抱え込むのではなく、「組織」で情報を共有し組織的な対応を行う。
  - ・いじめに係る情報が教職員に寄せられた時は、他の業務に優先して、かつ、即日、当該情報を速やかに学校のいじめ問題対策委員会に報告し、学校の組織的な対応を行う。

### (1) いじめの防止のための措置

#### 《学級担任等》

- ・日常的にいじめの問題について触れ、「いじめは人として絶対に許されない」との雰囲気を学級全体に共有させる。
- ・はやしたてたり見て見ぬ振りをしたりする行為もいじめを肯定している事だと理解させ、いじめの傍観者からいじめを抑止する仲裁者へと転換させる。
- ・一人一人を大切にしたわかりやすい授業づくりを進める。
- ・教職員の不適切な認識や言動が、生徒を傷つけたり、他の生徒によるいじめを助长したりすることがないよう、指導の在り方には細心の注意を払う。

#### 《養護教諭》

- ・学校の教育活動の様々な場面で命の大切さを取り上げる。

#### 《生徒支援・教育相談担当教員》

- ・いじめ問題について校内研修や職員会議で積極的に取り上げ、教職員間の共通理解を図る。
- ・日頃から関係機関等と連携し、情報交換に取り組む。

#### 《管理職》

- ・全校集会などで校長が日常的にいじめ問題について触れ、「いじめは人として絶対に許されない」との雰囲気を学校全体に醸成させる。
- ・学校の教育活動全体を通じた人権教育や道徳教育の充実、読書活動・体験活動などの推進等に計画的に取り組ませる。
- ・生徒が自己有用感を高められる場面や、困難な状況を乗り越えるような体験の機会などを積極的に設けるよう教職員に働きかける。
- ・いじめ問題に生徒自らが主体的に参加する取組を推進する。

### (2) 早期発見のための措置

#### 《学級担任等》

- ・日頃から生徒の見守りや信頼関係の構築に努め、生徒が示す小さな変化を注意深く観察し、小さなサインも見逃さないようにする。
- ・休み時間・放課後の生徒との雑談や学級日誌等を活用し、交友関係や悩みを把握する。
- ・個人面談や家庭訪問の機会を活用し、教育相談を行う。

### 《養護教諭》

- ・保健室を利用する生徒の様子に目を配るとともに、いつもと何か違うと感じたときは、その機会を捉え悩みなどを聞くようにする。

### 《生徒支援・教育相談担当教員》

- ・定期的なアンケート調査や教育相談を定期的に実施する。
- ・保健室や教育相談室の利用、電話相談窓口について周知する。
- ・休み時間や昼休み、放課後の地域巡回等において、生徒が活動する場所で異常がないか確認する。

### 《管理職》

- ・生徒及びその保護者、教職員がいじめに関する相談を行うことができる体制を整備する。
- ・学校における教育相談が、生徒の悩みを積極的に受けとめられる体制を構築し、それが適切に機能しているか定期的に点検する。

## (3) いじめに対する措置

### ① 情報を集める

#### 《学級担任・養護教諭等》

- ・いじめと疑われる行為を発見した場合、その場でその行為を止める。  
(暴力を伴ういじめの場合は、複数の教員が直ちに現場に駆けつける)
- ・生徒や保護者の立場から「いじめではないか」との相談や訴えがあった場合には、真摯に傾聴する。
- ・発見、通報を受けた場合は、速やかに関係生徒から聞き取るなどして、いじめの正確な実態把握を行う。その際、他の生徒の目に触れないよう、聞き取りの場所、時間等に慎重な配慮を行う。
- ・いじめた生徒が複数いる場合は、同時刻にかつ個別に聞き取りを行う。

#### 《「いじめの防止等の対策のための組織」》(以下、「組織」という)

- ※いじめ防止対策推進法第22条の「学校におけるいじめの防止等の対策の為の組織」をいう。当該学校の複数の教職員に加え、心理・福祉の専門家、弁護士、医師、教員・警察経験者などから構成される事が考えられる。なお、「複数の教職員」については、学校の管理職や主幹教諭、生徒指導担当教員、学年主任、養護教諭、学級担任等から、学校の実情に応じて決定する。
- ・教職員、生徒、保護者、地域住民、その他からいじめの情報を集める。
  - ・その際、得られた情報は確実に記録に残す。
  - ・一つの事象にとらわれ過ぎず、いじめの全体像を把握する。

### ② 指導・支援体制を組む

#### 《「組織」》

- ・正確な実態把握に基づきいじめの認知を行う。いじめと認知された場合、いじめ問題対策委員会において、指導・支援体制を組み組織的に対応する。
  - ▽いじめられた生徒や、いじめた生徒への対応
  - ▽その保護者への対応
  - ▽教育委員会や関係機関等との連携の必要性の有無 など
- ・些細な兆候であっても、いじめの疑いがある行為には、早い段階からの確に関わりを持つことが必要である。
- ・生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるおそれがあるときは、直ちに所轄警察署に通報し、適切に援助を求める。

- ・現状を常に把握し、隨時、指導・支援体制に修正を加え、「組織」でより適切に対応できるようにする。

### ③-A 子供への指導・支援を行う

※「組織」で決定した指導・支援体制に基づき、指導・支援を行う

#### 《いじめられた生徒に対して》

- ・いじめられた生徒やいじめを知らせてきた生徒の安全を確保するとともに、いじめられた生徒に対し、徹底して守り通すことを伝え、不安を取り除く。
- ・いじめられている生徒に「あなたが悪いのではない」ことをはつきりと伝えるなど、自尊感情を高めるよう留意する。
- ・必要に応じて、いじめられた生徒を別室において支援したり、出席停止制度を活用したりして、いじめられた生徒が落ち着いて教育を受ける環境の確保を図る。

#### 《いじめた生徒に対して》

- ・いじめた生徒への指導に当たっては、いじめは人格を傷付け、生命、身体又は財産を脅かす行為であることを理解させ、自らの行為の責任を自覚させる。
- ・いじめた生徒が抱える問題など、いじめの背景にも目を向ける。
- ・不満やストレス（交友関係や学習、進路、家庭の悩み等）があっても、いじめに向かうのではなく、運動や読書などでの確に発散できる力を育む。
- ・いじめた生徒の指導を行っても十分な効果を上げることが困難である場合は、所轄警察署等とも連携して対応する。

#### 《学級担任等》

- ・学級等で話し合うなどして、いじめは絶対に許されない行為であり、根絶しようとする態度を身につけさせる。
- ・いじめを見ていた生徒に対しては、いじめを止めさせることができなくとも、信頼する大人に知らせる勇気を持つことや、はやしたてる、傍観するなどの行為もいじめに加担することになるという理解を促し、自分の問題として捉えさせる。

#### 《「組織」》

- ・状況に応じて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、スクールサポーター等の協力を得るなど、対応に困難がある場合のサポート体制を整えておく。
- ・いじめが解決したと思われる場合でも、継続して十分な見守りを行い、折に触れる必要な支援を行う。
- ・指導記録等を確実に保存し、生徒の進学・進級や転学に当たって、適切な引き継ぎを行う。

### ③-B 保護者と連携する

#### 《学級担任を含む複数の教員》

- ・家庭訪問（加害、被害とも。また、学級担任を中心に複数人数で対応）等により、迅速に事実関係を伝えるとともに、今後の学校との連携方法について話し合う。
- ・いじめられた生徒を徹底して守り通すことや秘密を守ることを伝え、できる限り保護者の不安を取り除く。
- ・事実確認のための聴き取りやアンケート等により判明した、いじめ事案に関する情報を適切に提供する。

### 資料3 学校生活の中で見られるいじめのサイン

いじめられた生徒は自分から言い出せないことが多い。複数の教職員が、複数の場面で生徒を観察し、小さなサインを見逃さないことが大切である。

日頃の学校生活の中で、生徒一人一人について各場面毎に確認をしたり、個人面談期間等を利用し、個別面談をする際の聞き取り項目として活用する。

#### (1) いじめられた生徒のサイン

場面	学校生活における観察のポイント（生徒が示すサイン等）
登校時 朝S H R	<input type="checkbox"/> いつも一人で登校したり、表情が暗い。 <input type="checkbox"/> 朝早く登校したり、遅く登校したりしている。 <input type="checkbox"/> 教職員の挨拶などの声かけ時に視線が合わず、うつむいている。 <input type="checkbox"/> 元気がなく、顔色がすぐれず、体調不良等を訴える。 <input type="checkbox"/> 提出物を忘れたり、期限に遅れたりする。 <input type="checkbox"/> 担任が教室に入室してから、遅れて入室している。 <input type="checkbox"/> 遅刻や欠席、早退が増えてくる。 <input type="checkbox"/> 発言や態度に、周囲への過度な気遣いが見られる。 <input type="checkbox"/> 学習の準備をしないで、ぼんやりしていたり、そわそわ落ち着かない。
授業中	<input type="checkbox"/> 教科書やノート、宿題や課題等の忘れ物が多い。 <input type="checkbox"/> 教室に入れず、保健室やトイレに行くようになる。 <input type="checkbox"/> 授業が始まってから、一人遅れて教室に入ってくる。 <input type="checkbox"/> 授業開始時、机上や周りに学習用具等が散乱している。 <input type="checkbox"/> 教科書・ノートなどに落書きがされていたり、汚されたりしている。 <input type="checkbox"/> 決められた座席と異なる席に着いている。 <input type="checkbox"/> おどおどして発言をためらったり、うつむいたりしている。 <input type="checkbox"/> 特定の生徒が間違えたり失敗したりすると、やじられたり笑われる。 <input type="checkbox"/> 特定の生徒をほめると、他の生徒が笑ったりしらけたりしている。 <input type="checkbox"/> 特定の生徒が、学習内容と全く関係のないことを発言し（させられ）て、みんなの笑いものになっている。 <input type="checkbox"/> ペアやグループを作るとき、特定の生徒が取り残される。 <input type="checkbox"/> グループを代表して、特定の生徒ばかりが発表や活動をさせられている。 <input type="checkbox"/> 特定の生徒に対して、周囲の生徒が机を離して座ろうとする。 <input type="checkbox"/> 特定の生徒が入ったグループ等に、他の生徒が入りたがらない。 <input type="checkbox"/> 学習意欲が急になくなったり、明確な理由がなく成績が急激に下がる。
休み時間等	<input type="checkbox"/> これまで仲のよかったグループから外されている。 <input type="checkbox"/> どのグループにも入らず、一人でぼつんとしている。 <input type="checkbox"/> 休み時間に、自分の席から離れようとしない。 <input type="checkbox"/> 休み時間の度にトイレや保健室などにいることが多い。 <input type="checkbox"/> 友だちの誘いに、さえない表情で、ついて行っている。 <input type="checkbox"/> 用事のない場所にいたり、職員室にいることが多い。 <input type="checkbox"/> ふざけ合っているのに、本人の表情がさえなかつたり、おどおどした表情をしている。 <input type="checkbox"/> 集団の中で、笑いものにされたり、からかわれたり、命令されたりしている。 <input type="checkbox"/> 一緒にいる友だちに、過度な気遣いをしている様子が見られる。 <input type="checkbox"/> 特定の生徒が周りの生徒に話しかけても、無視されて会話に入れない。 <input type="checkbox"/> グループ等での話題が特定の生徒の悪口や失敗談等が中心になり、おもしろがって会話している。

清掃時間	<input type="checkbox"/> 特定の生徒と同じ清掃区域になりたがらない。 <input type="checkbox"/> いつもみんなのいやがる仕事や場所が特定の生徒に割り振られる。 <input type="checkbox"/> 特定の生徒だけが掃除をさせられている。 <input type="checkbox"/> 清掃後のS H Rや授業に遅れてくることがよくある。 <input type="checkbox"/> 他の生徒は清掃を終えているのに、特定の生徒が掃除や後片付けをしている。 <input type="checkbox"/> 特定の生徒の掃除を邪魔したり、ふざけた言動をしたりしている。
放課後	<input type="checkbox"/> S H R後、慌てるように下校する。また、用事もないのに学校に遅くまで残って、なかなか帰ろうとしない。 <input type="checkbox"/> S H Rで配布したプリント等が特定の生徒にだけ渡らない。 <input type="checkbox"/> 下校近くになると、不安そうな表情をして落ち着かない。 <input type="checkbox"/> 特別な用事がないのに職員室など、教職員の近くにいる。 <input type="checkbox"/> 自転車通学なのに、他の生徒に付いて、走って下校している。 <input type="checkbox"/> 下校の際に、靴や傘などがよくなくなっている。
部活動等	<input type="checkbox"/> 準備や後片付けをよく一人でさせられている。 <input type="checkbox"/> 遅れてくることが多くなったり、よく休むようになったりする。 <input type="checkbox"/> 部活動の途中で、体調不良をよく訴えてくる。 <input type="checkbox"/> 特定の生徒だけに集中した練習が行われたり、ヤジや冷やかしがある。 <input type="checkbox"/> 特定の生徒にだけボールが回ってこないなど、阻害されている。 <input type="checkbox"/> ペアやグループでの練習の時に、特定の生徒だけがいつも取り残される。 <input type="checkbox"/> 理由をはっきり言わないで、退部や休部を言う。
学校生活全般	<input type="checkbox"/> 理由の明確でない怪我等が見られたり、それを隠そうとしたり、衣服の破れやボタンが取れたり、汚れが見られたりする。 <input type="checkbox"/> 不自然な言動が見られ、周囲の友だちの動きをとても気にする。 <input type="checkbox"/> 普段明朗な生徒が、急にふさぎ込んだりおどおどしたりしている。 <input type="checkbox"/> 体調不良をよく訴えたり、一人で保健室に行きたがったりしている。 <input type="checkbox"/> 一人で行動することが多くなり、集団行動や行事（遠足や修学旅行等）を避けたりしている。 <input type="checkbox"/> いつも友だちの使い走り等をさせられるなど、言いなりになっている。 <input type="checkbox"/> いやなあだ名で呼ばれたり、「キモイ、ウザイ」等と言われる。 <input type="checkbox"/> 特定の生徒の机や椅子、持ち物にさわろうとしない傾向がある。 <input type="checkbox"/> 班決めで、特定の生徒が最後まで決まらなかったり、席替えで近くの席をいやがる。 <input type="checkbox"/> 個人の持ち物が紛失したり、壊されたり、いたずら書きされたりしている。 <input type="checkbox"/> 教室内の掲示物や黒板などに中傷や悪質な落書きが見られる。 <input type="checkbox"/> 筆記用具の貸し借りが多い。または、貸してくれない。

## (2) いじめた生徒のサイン

場面	学校生活における観察のポイント（生徒が示すサイン等）
学校生活全般	<input type="checkbox"/> 仲間同士で集まり、特定の生徒の方を見たり、ひそひそ話をしたりする。 <input type="checkbox"/> ある生徒だけに、周囲が異常に気を遣っている。 <input type="checkbox"/> 教職員が近づくと、急に話をやめたり、不自然に分散したりする。 <input type="checkbox"/> 自己中心的な言動が目立ち、集団の中心的な存在になっている。 <input type="checkbox"/> ある生徒の意見だけに周りの生徒が従う様子が見られる。

#### 資料4 家庭生活の中で見られるいじめのサイン

いじめられている生徒は、家庭でも多くのサインを出している。生徒の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校と連携が図られるように、保護者に伝えておくことが大切である。

教職員は、学級懇談会やPTA総会など、下記の具体的なサイン表を保護者に示し、保護者自身が確認をすることで、日頃の子どもの様子を気にかけていただくと共に、小さなことでも気になることがあつたら、すぐに学校に相談できるような体制を整えておくことが大切である。

##### (1) いじめられた生徒のサイン

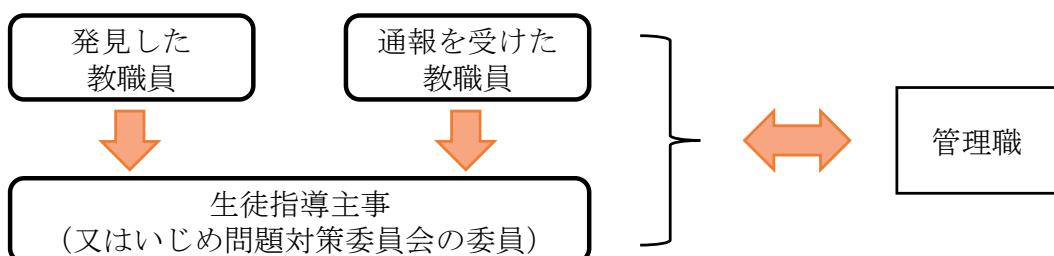
場面	家庭生活における観察のポイント（子どもが示すサイン等）
朝 (登校前)	<input type="checkbox"/> 朝起きてこない。布団からなかなか出てこない。 <input type="checkbox"/> 朝になると体の具合が悪いと言い、学校を休みたがる。 <input type="checkbox"/> 遅刻や早退が増えた。 <input type="checkbox"/> 食欲がなくなり、黙って食べるようになる。
夕 (下校後)	<input type="checkbox"/> 携帯電話やメールの着信音におびえる。 <input type="checkbox"/> 電話に出たがらなかつたり、友人からの誘いをほとんど断る。 <input type="checkbox"/> 勉強しなくなる。集中力がなくなる。 <input type="checkbox"/> 家からお金を持ち出したり、必要以上のお金をほしがる。 <input type="checkbox"/> 遊びの中で、笑われたり、からかわれたり、命令されたりしている。 <input type="checkbox"/> 親しい友だちが遊びに来なくなったり、遊びに行かなくなったりする。 <input type="checkbox"/> 自転車がよくパンクしたり、なくなったりする。
夜 (就寝前)	<input type="checkbox"/> 表情が暗く、家族との会話も少なくなる。 <input type="checkbox"/> 些細なことでイライラしたり、物にあたったりする。 <input type="checkbox"/> 学校や友だちの話題が減った。 <input type="checkbox"/> 自分の部屋に閉じこもる時間が増えた。 <input type="checkbox"/> パソコンやスマホをいつも気にしている。 <input type="checkbox"/> 理由をはっきり言わないあざや傷跡がある。 <input type="checkbox"/> 不審な電話やメールがある。
夜間 (就寝後)	<input type="checkbox"/> 寝つきが悪かったり、夜眠れなかつたりする日が続く。 <input type="checkbox"/> 学校で使う物や持ち物がなくなったり、こわれている。 <input type="checkbox"/> 教科書やノートにいやがらせの落書きをされたり、破られたりしている。 <input type="checkbox"/> 服が汚れていたり、破れていたりする。

##### (2) いじめた生徒のサイン

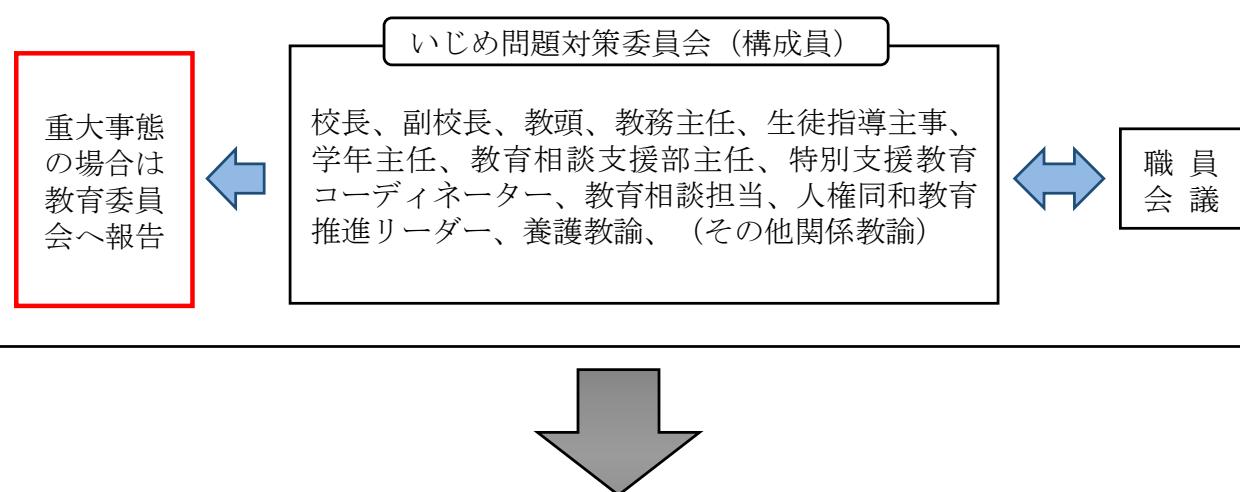
場面	家庭生活における観察のポイント（子どもが示すサイン等）
家庭生活 全般	<input type="checkbox"/> 家族に対して、言葉遣いが荒くなる。 <input type="checkbox"/> 保護者の言うことをきかない。 <input type="checkbox"/> 人のことをばかにしたような言動をする。 <input type="checkbox"/> 買ったおぼえのない物を持っている。 <input type="checkbox"/> 与えたお金以上の物を持っている。 <input type="checkbox"/> 小遣いでは買えないものを持っている。

## 資料5 いじめに対する措置（緊急時の組織的対応）

### ア いじめの発見・通報を受けた時の対応



### イ 情報の共有



- ウ 調査・事実関係の把握  
 エ いじめの認知  
 オ 解決に向けた指導及び支援  
 カ 関係機関への報告  
 キ 繼続指導・経過観察

保護者

情報提供  
支 援

生徒

指  
支

導  
援

学 校

情報提供  
支 援

犯罪行為等の  
通報・対応

連携

県教育委員会

警察署

関係機関 (福祉・医療等)

## いじめの認知チエックフロー

- ・認知後の対応については、組織的に対応し、解決につなげる。

卷之三

## 資料6 いじめの認知チェックフロー

